

平成 30年度 山梨県立甲府昭和學校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	創立35周年を迎え、新たな時代の教育の方向性を見据えた上で、学校の教育力、組織力を一層向上させながら、生徒の資質・能力育成のための教育を推進します。
-----------	--

山梨県立甲府昭和高等学校

本年度の重点目標	生徒に身につけさせたい資質・能力を明確にし、その育成のための教育を推進する。	達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4	良くできている。
	さわやかな教育の実践を通し、規範意識の向上と主体的に行動できる生徒の育成を図る。		B	概ね達成できた。(6割以上)		3	できている。
	安全で安心な教育環境の実現を図るとともに地域に貢献する教育を推進する。		C	不十分である。(4割以上)		2	あまりできていない。
			D	達成できなかった。(4割以下)		1	できていない。

本年度の重点目標			自己評価		
番号	評価項目	具体的方策	年度末評価(2月25日現在)		
			自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	総合的な学習の時間において探究的な学習を充実する。	甲府昭和高校Can-doリストの教員・生徒・保護者での共有・活用	生徒授業アンケート、教職員・生徒・保護者アンケート	B	Can-doリストにより育成する資質・能力は明確化された。今後、生徒の資質・能力の育成を踏まえた授業改善をさらに実践し、そのうえで活用と共有の方法を工夫していく必要がある。また、授業以外の教育活動においても同様に取り組んでいく。Can-doリストの項目内容は必要に応じて見直しを行っている。
		生徒の資質・能力の育成を踏まえた授業改善	相互授業参観実施状況、生徒授業アンケート、教職員・生徒アンケート	B	学年をオープンにした成果発表会は成功裏に実施できた。総合的な学習(探究)の時間推進委員会を活用して、単元化による指導と評価や学年をオープンにした成果発表会の実施に加え、さらに工夫した企画・運営が必要である。Classiを活用したポートフォリオは工夫が必要である。
		Classiを活用した自己評価力の向上(1年生のみ)	教職員・生徒・保護者アンケート	B	
2	規範意識を育み、生活習慣の確立する。	登校時指導週間、生徒指導の手引	教職員・生徒・保護者アンケート	A	5分前行動は励行され、5分前遅刻を減少している。「基本的な生活習慣が身につけている」との間は生徒・保護者ともに高い評価を得ている。
		5分前行動の励行	5分前遅刻数、教職員・生徒・保護者アンケート	A	
3	主体性を持ち、あいさつやボランティア活動を行う。	通学時マナーアップ運動、あいさつ運動の充実	教職員・生徒・保護者アンケート	A	生徒・保護者・教職員の協働で通学時マナーアップ運動が実施された。生徒のボランティアのアンケート結果が若干低いのが気に掛かるが、主体性を持って活動できた。
		ボランティア活動への主体的参加の促進	ボランティア活動数、教職員・生徒・保護者アンケート	A	
4	安全・安心に学べる学校づくりを実現する。	防災計画・危機管理マニュアルの改善・危機管理に関するHRの実施	教職員・生徒・保護者アンケート	A	交通安全に関する成果が顕著に出ているため、本指導と教育を高く評価する。「安全・安心に学べる学校づくり」の実現のため、何かあった場合は速やかに適切に対応していくことを心がける。
		原付講習会、交通安全教室の充実	交通事故・違反件数、教職員・生徒・保護者アンケート	A	
5	各種連携事業により、地域貢献を果たす。	昭和町小中高連携事業の推進	小中高合同会議での事業への反省、教職員・生徒アンケート	A	継続しながらも、可能な範囲で連携の在り方を改善していく必要がある。
		関係機関との連携事業の推進	教職員・生徒アンケート	A	

学校関係者評価		
実施日(平成31年3月15日)		
評価	意見・要望等	
3	・新時代への対応力向上を見据えたCan-doリストの設定と当該リストに基づく授業改善の実施を評価する。 ・Can-doリスト適用場面の見直し(例えば、学年毎に少数の重点項目を設定して、生徒が一度に意識できる項目数を絞る)を含めた、生徒・保護者に対する共有意識の向上をお願いしたい。 ・研究研修でのCan-doリストの認知度が低くなっているため、Can-doが求める 資質や能力の明確化が必要と考える。 ・普段から生徒の資質・能力の育成を踏まえた取り組みをされていると感じる。Can-doリストの活用の周知が期待されるが、実際に使う人たちが活用しやすいように改善されていくと良いと思う。 ・生徒に身につけさせたい資質・能力をCan-doリストとして示し、学校と家庭が共有することは有効なことだと思う。また、その振り返り(アンケート)により、授業・行事等の改善に向けた具体的な方策が見いだせると考える。Can-doリストの工夫・改善を進めることにより、甲府昭和高校の大きな財産となることを期待したい。 ・Can-doリストの有用性ははつきりしていると認められるので、今後一層その趣旨・効用等について生徒や保護者の理解を深めていただきたい。課題等について明確に認識し改善策を考えている点で評価したい。	
3	・総合的な学習(探究活動)をエネルギーに関する校外学習と上手にリンクさせ、かつポスターセッションの成果発表会を実施した点を評価する。より工夫された今後の企画・運営について、大いに期待する。 ・ポートフォリオと手帳の併用については各特徴を活かして効率的に利用し、記入者の負担が極端に増えないような配慮をお願いしたい。 ・アンケート結果の数値が少し低いのが気になるが、成果発表会等も多く取り入れているのが評価できる。 ・取り組みの成果は確実に表れていると感じる。Classiの活用がまだ難しそうである。改善を期待します。 ・Classiはその導入がなされたばかりであり、今後の活用の深まりを期待したい。デジタルとアナログの融合という視点も大切かと思う。 ・探究的な学習において成果があらわれていると思う。生徒自らが学びへ向かうための強力な推進力となるのではないかと。 ・高大連携については生徒の満足度も上がってきている。先生方のご苦労が実を結ぶ方向へ進んでいると実感する。 ・Classiについて生徒が自在に活用することでより良い結果が生まれると思われるので、今後の指導に期待したい。また、改善点等について意識され、取り組みの方向性が明確になっている点で評価したい。	
4	・教員主導の継続的な日常の生徒指導について評価する。 ・生徒が主体的となった生活習慣の見直し熟識について高く評価する。このような取り組みを継続・発展させ、生徒自身の自己管理能力を涵養していただきたい。 ・5分前遅刻への取り組みは、生徒によく浸透しており、良い結果につながっているのでも後も継続するべきである。 ・5分前行動を含めた基本的な生活習慣が確立されていると感じるが、生活委員の取り組みで今後も生徒の自主性が発揮され、自ら行動できる校風を培って欲しいと思う。 ・生徒自身による熟識は、たいへん有効であると思う。基本的な生活習慣がよい状況にある今だからこそ、甲府昭和高校の校風、伝統づくりにつながる重要なポイントとして、大いに期待したい。 ・基本的な生活習慣の確立は非常に有益だと思われる。生徒の主体的な行動に結びつける取り組みを今後も継続されたい。	
4	・ボランティアの受入体制(特に体育館で行った大人数のボランティア活動)について高く評価する。 ・課外活動時の放課後経済活動について、具体策とその実施を早急に希望する。 ・アンケート結果を見る限り、生徒に本気でボランティア活動の必要性をしっかりと理解させる事で未参加率も減少すると考える。 ・以前より気持ち良く挨拶が交わされている校風が維持されていることを卒業生としても誇りに思う。ボランティア活動においては、危機管理を考慮し更に参加しやすい仕組みづくりが必要と感じる。 ・日ごろ見かける甲府昭和高校の生徒の姿からは、日ごろ指導の成果が見て取れる。 ・甲府昭和高校生としての誇りを持った行動を今後も期待したい。特に学校にいるだけでなく、私生活の場面でも常にこの誇りを忘れずに行動してほしい。社会に出てからの振り返りの場面で必ず高校時代が思い出深いものとしてよみがえってくると思われる。その時に改めて母校での様々な学びが自身のかけがえのない財産だったことを実感するものと確信する。	
4	・交通安全に関する成果が顕著に出ているため、本指導と教育を高く評価する。 ・継続的な「生徒と保護者の安心・安全」のため、引き続き、生徒と教職員に対する危機管理意識の涵養をお願いする。 ・交通違反・事故等は年々減少している事は大いに評価できる。これは生徒だけでなく教員の指導もあってのことである。 ・防犯カメラの速やかな対応をとって常に生徒達の安全に気を配っていただいていることがわかる。交通安全指導についても、生徒たちの主体的な行動の育成を期待する。 ・安全・安心に対する生徒の意識が高まっていると思う。研修等も工夫しながら、今後の成果につなげていってもらいたい。 ・特に心配な交通事故であるが、コンプライアンスの徹底を繰り返して欲しい。些細な違反の繰り返しがあると大きな事故につながりかねないので、今後も指導をお願いしたい。	
4	・地域連携事業の実施と成果について評価する。 ・地域連携の在り方を模索・改善しながら、継続して地域に開かれた学校づくりを推進していただきたい。 ・小中高の合同会議への参加による学校間の温度差を無くすことへの取り組みから、しっかりと対応がうかがえる。 ・甲府昭和高校生として出来る地域貢献活動を今後も継続して行く中で、校内での学習や体験は得られない学びがあることは素晴らしいと思う。 ・小中高連携は、この地域にとって大きな財産となっている。県内をリードするような取組になっていくことを期待したい。小中学校としても、協力体制を維持・発展させていきたい。 ・高い目標をもって引き続き取り組みをお願いしたい。	

※(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 ※(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。